

愛着と発達の課題を抱える 子どもへの支援

11.29

Sun.

10:00-17:00

講義と事例検討を通して、子どもと家族への支援を考える

講座内容

子どもへの支援においては、子どもと家族のどのような要因によって、問題が生じているのかを検討する必要があります。そこには、虐待による愛着の傷つきや、発達障害に伴う対人理解・感情調整の困難が重なっている場合があります。

本講座では、家庭裁判所調査官として非行臨床に携わり、その後も犯罪心理学、児童虐待、発達障害のある子どもと親への支援に取り組んでこられた橋本和明先生を講師に迎えます。愛着と発達の視点から、子どもの行動の背後にある体験をどのように理解し、支援へとつなげていくのかを学びます。

ご講義と事例検討を通して、教育・医療・福祉・司法の各領域において、子どもと家族を「問題行動」だけで捉えない支援のあり方を考えます。

定員・参加費

定員50名
一般 5,000円
大学院生 3,000円

会場

ワイム貸会議室
高田馬場 ルーム3C
〒169-0075 東京都新宿区高
田馬場1-29-9
TDビル3F（受付3F）

講師紹介



橋本 和明 先生 国際医療福祉大学 教授

1959年、大阪府生まれ。専門は非行臨床、犯罪心理学、児童虐待。家庭裁判所調査官、花園大学教授等を経て現職。

児童虐待事件の犯罪心理鑑定、児童相談所のスーパーバイザー等を担う。現在、こども家庭庁審議会児童虐待防止対策部会委員、日本子ども虐待防止学会理事、日本犯罪心理学会常任理事等。

主な著書：『子どもをうまく愛せない親たち』『虐待と非行臨床』『非行臨床の技術』『子育て支援ガイドブック』『犯罪心理鑑定の技術』ほか。



申込方法



Googleフォームよりお申込みください。
URL
<https://forms.gle/bKc1KTzEx5mgDzPY6>
※申込期限：10月5日
※個人情報は本学規程に基づき、厳格に管理いたします。

当日予定

10:00 開会・講義
12:00 昼休憩
13:00 事例検討
16:30 まとめ・質疑
17:00 終了予定

対象者

公認心理師、臨床心理士、医師、教師、ソーシャルワーカー、看護師等、臨床心理・医学・教育・福祉等の分野の仕事に携わっている方、およびそれらの職業を志している大学院生。

* 日本公認心理師協会テーマ別研修登録申請予定です。

* 臨床心理士資格更新ポイントは申請予定です。

* 大幅な遅刻早退はポイント対象になりませんのでご了承ください。